

環境経営レポート

2023 初版

ユナイテッドトヨタ熊本株式会社

発行日：令和6年3月28日

対象期間：令和5年9月～11月



© 2010 熊本県くまモン



目次

1、会社の概要・企業理念	・・・P3～P5
2、環境経営方針	・・・P6
3、環境経営目標	・・・P7
4、環境経営計画	・・・P8
5、環境管理体制	・・・P9
6、環境経営目標と達成状況及びその評価結果	・・・P10～P12
7、環境法令一覧及び順守状況	・・・P13～P14
8、代表者による取組状況の評価及び見直しの結果	・・・P15～P16
9、環境・地域貢献活動のご紹介	・・・P17
10、エコカーラインナップ	・・・P18～P20

会社概要

会社名 ユナイテッドトヨタ熊本株式会社

本社所在地 熊本県熊本市中央区十禅寺4丁目1番1号
TEL：096-362-2111
FAX：096-364-3097

代表者 代表取締役会長 梅崎 輝也
代表取締役社長 西 治三朗

資本金 5000万円

従業員数 583名

事業内容

新車・中古車販売、自動車リース、
自動車整備、部品・用品販売、自動車買い取り、
携帯電話販売、損害保険代理店業務、

環境管理の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 常務取締役 梅崎 晃弘
担当者 事務局 局長 前田 英明
連絡先 総務部

TEL：096-372-6548

FAX：096-372-6097

※赤枠は認証登録範囲の活動を示す

会社概要

エリア	事業所名		所在地
セントラル	カローラ熊本本店	〒860-0824	熊本県熊本市中央区十禅寺4丁目1-1
	ネッツクエア本店	〒861-4101	熊本県熊本市南区近見7丁目8-41
	カローラ熊本健軍店	〒862-0911	熊本県熊本市東区健軍4丁目4-3
	ネッツクエア南熊本店	〒860-0812	熊本県熊本市中央区南熊本3丁目6-1
	カローラ熊本宇土店	〒869-0417	熊本県宇土市境目町390-2
	レクサス熊本南	〒860-0823	熊本県熊本市中央区世安1丁目1-13
	GR Garage熊本中央	〒860-0826	熊本県熊本市平田1丁目11番7号
サウス	カローラ熊本八代店	〒866-0844	熊本県八代市旭中央通り11-2
	ネッツクエア八代店	〒866-0073	熊本県八代市本野町1921-1
	カローラ熊本人吉店	〒868-0083	熊本県人吉市下林町184-1
	カローラ熊本水俣店	〒867-0045	熊本県水俣市桜井町2丁目1-1
	カローラ熊本天草店	〒863-0042	熊本県天草市瀬戸町66
	カローラ熊本大矢野店	〒869-3602	熊本県上天草市大矢野町上1501-1
イースト	カローラ熊本東バイパス店	〒861-8019	熊本市東区下南部3丁目14-78
	ネッツクエア東店	〒861-8029	熊本県熊本市東区西原3丁目1-17
	カローラ熊本清水店	〒860-0084	熊本県熊本市北区山室5丁目1-1
	カローラ熊本武蔵ヶ丘店	〒861-8003	熊本県熊本市北区楠6丁目6-50
	カローラ熊本大津店	〒869-1234	熊本県菊池郡大津町引水157-1
	フォルクスワーゲン熊本中央	〒860-0823	熊本県熊本市中央区世安3丁目13-19
ノース	カローラ熊本玉名店	〒865-0065	熊本県玉名市築地438-1
	ネッツクエア玉名店	〒865-0023	熊本県玉名市大倉732-1
	カローラ熊本山鹿店	〒861-0517	熊本県山鹿市大橋通801
	カローラ熊本菊池店	〒861-1306	熊本県菊池市大琳寺91-3
	カローラ熊本荒尾店	〒864-0041	熊本県荒尾市荒尾2025-2
	カローラ熊本阿蘇店	〒869-2225	熊本県阿蘇市黒川137-1

企業理念



UTグループ環境経営方針

私たちUTグループは、モビリティに関わるサービスを通して人々の生活を豊かにし、熊本になくてはならない存在になります。同時に、健全な企業活動を心がけ、環境保全を重要な経営課題の一つと位置付け、地球環境の保全・改善活動を自主的、積極的かつ、継続的に推進します。

1. 次の項目を重点項目として継続的に取り組みます。
 - (1) 電力、燃料等のエネルギー使用量の負荷チェックを行い、効率的な使用及び省エネルギーに努め、二酸化炭素の出削減に努め、環境改善に取り組みます。
 - (2) 一般廃棄物・産業廃棄物の分別を徹底し、資源リサイクルと廃棄物の抑制に努め、適正に処理し、産業廃棄物排出量を削減します。
 - (3) 水使用量の負荷チェックを行い、節水に努め、水使用量を削減します。
 - (4) 化学物質は適正に管理し、使用量を削減します。
 - (5) HEVやPHEVなどの環境に配慮した商品の販売に努めると共に、車両の定期点検を推進し、二酸化炭素の排出抑制に取り組みます。
2. 当社の事業活動に関連する環境関連法規等を遵守します。
3. 地域社会とのコミュニケーションを大切にし、地域の環境保全活動に協力します。
4. 環境経営方針を全社員が共有し、環境に関する理解を深め、環境改善に取り組みます。

制定日 2023年 9月 1日

ユナイテッドトヨタ熊本株式会社

代表取締役社長 西 治三郎

環境経営目標（2023年度）

活動期間（試行期間）：（2023年9月～2023年11月）

環境経営目標	単位	基準年 2022年度	目標					
			試行期間（前年）	2023年度（0.5%削減）		2024年度 （1%削減）	2025年度 （2%削減）	2026年度 （3%削減）
				試行期間	年間			
		2022年4月～ 2023年3月	2022年9月～ 2022年11月	2023年9月～ 2023年11月	2023年4月～ 2024年3月	2024年4月～ 2025年3月	2025年4月～ 2026年3月	2026年4月～ 2027年3月
1. 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	2,075,767	523,602	520,984.2	2,065,388.1	2,055,009.2	2,034,251.6	2,013,493.9
(1) 電気使用量削減	kWh	3,012,937	816,334	812,252.3	2,997,872.3	2,982,807.6	2,952,678.3	2,922,548.9
(2) ガソリン使用量削減	ℓ	312,999	78,039	77,649.2	311,433.9	309,869.0	306,739.0	303,609.0
(3) 軽油使用量削減	ℓ	55,575	7,466	7,429.1	55,297.3	55,019.4	54,463.7	53,907.9
(4) 灯油使用量削減	ℓ	360	0	0.0	358.2	356.4	352.8	349.2
(5) 都市ガス使用量削減	m ³	14,588	3,620	3,601.9	14,515.1	14,442.1	14,296.2	14,150.4
(6) LPGガス使用量削減	m ³	11,052	1,753	1,744.2	10,996.4	10,941.2	10,830.7	10,720.1
2. 廃棄物排出量の削減	kg	210,071	49,729	49,480.4	209,020.6	207,970.3	205,869.6	203,768.9
一般廃棄物排出量の削減	kg	113,334	26,909	26,774.5	112,767.3	112,200.7	111,067.3	109,934.0
産業廃棄物排出量の削減	kg	96,737	22,820	22,705.9	96,253.3	95,769.6	94,802.3	93,834.9
3. 上水道使用量の削減	m ³	27,539.7	6,889.1	6,854.7	27,402.0	27,264.3	26,988.9	26,713.5
4. 化学物質使用量の削減（トルエン・キシレン） 塗装する際に使用するスプレーガンの洗浄時に使用	Kg	1.5		適正管理	←	←	←	←
5. ハイブリッド車の普及	%	57.5		HV車増減比率0.5%UP 58.0	HV車増減比率 1%UP 58.5	HV車増減比率 2%UP 59.5	HV車増減比率 3%UP 60.5	HV車増減比率 4%UP 61.5
6. 地域貢献活動の推進	-	くまモン県PJ ボランティア活動		継続	←	←	←	←

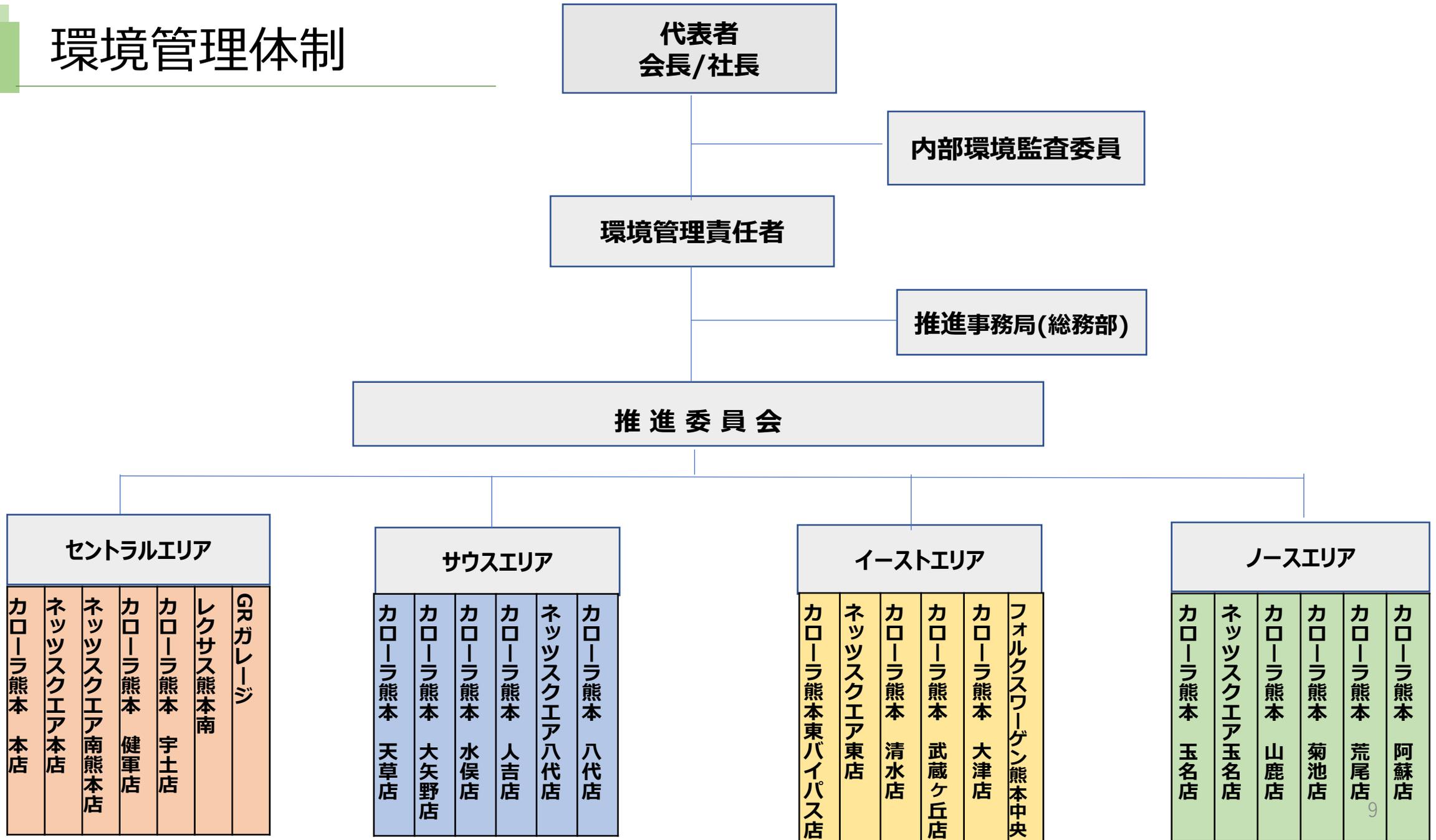
備考

・購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.382kg-CO₂/kWh（九州電力 2022年度・調整後）を使用した。

環境経営計画（2024年度）

取組項目		責任者	達成手段	
1) 二酸化炭素排出量の削減				
1	電気使用量の削減	店長	1	エアコンを適正温度で運転
			2	エアコンフィルターの定期清掃
3	休憩時間等の不用な照明の消灯			
4	ステッカーによる節電の周知			
2	ガソリン使用量の削減		1	社用車使用時のエコドライブ推進
			2	社用車の適正管理
3	軽油使用量の削減		1	社用車使用時のエコドライブ推進
			2	社用車の適正管理
4	灯油使用量削減		1	適正な使用量の促進
5	都市ガス使用量削減		1	エアコンを適正温度で運転
			2	ガス使用の適正管理
6	LPGガス使用量削減		1	ガス使用の適正管理
2) 廃棄物排出量の削減				
1	一般廃棄物排出量の削減	店長	1	ゴミ分別の徹底
			2	ペーパーレスの推進
2	産業廃棄物排出量の削減		1	分別管理の徹底
			2	リサイクルの促進
3) 水使用量の削減				
1	上水道使用量の削減	店長	1	こまめな節水の徹底
			2	ステッカーによる節電の周知
4) 化学物質使用量の削減				
1	化学物質使用量の削減	総務	1	適正管理（保管、使用量）
			2	塗料の最小限化
5) ハイブリッド車の普及				
1	ハイブリッド車の普及	店長	1	BEV、HV車の販売強化
			2	ガソリン車からの代替え促進
6) 地域貢献活動の推進				
1	地域貢献活動の推進	総務	1	ボランティア活動
			2	地域に密着した取組みを実施

環境管理体制



環境経営目標と達成状況及びその評価結果

	単位		9月	10月	11月	9~11月	
二酸化炭素排出量削減							
CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	目標	180,227.10	184,530.70	156,226.35	520,984.15	
		実績	208,656.18	199,959.34	134,750.59	543,366.11	
		評価	×	×	○	×	
電力使用量	kWh	目標	300,904.91	294,453.33	216,894.08	812,252.3	
		実績	337,285.00	344,015.00	190,095.00	871,395.0	
		評価	×	×	○	×	
ガソリン使用量	ℓ	目標	22,639.05	27,150.94	27,859.24	77,649.23	
		実績	27,923.18	24,315.30	22,533.15	74,771.63	
		評価	×	○	○	○	
軽油使用量	ℓ	目標	2,352.35	2,416.16	2,660.55	7,429.06	
		実績	3,393.02	3,032.10	2,283.42	8,708.54	
		評価	×	×	○	×	
灯油使用量	ℓ	目標	0	0	0	0	
		実績	0	216	400	616	
		評価	-	×	×	×	
都市ガス使用量	m ³	目標	2,599.94	790.03	211.94	3,601.91	
		実績	2,319.00	1,183.00	384.00	3,886.00	
		評価	○	×	×	×	
LPGガス使用量	m ³	目標	518.80	540.66	684.72	1,744.18	
		実績	612.80	588.49	1,034.17	2,235.46	
		評価	×	×	×	×	
廃棄物排出量削減							
一般廃棄物	Kg	目標	9,044.55	9,781.85	7,948.06	26,774.46	
		実績	10,292.20	12,431.00	10,580.40	33,303.60	
		評価	×	×	×	×	
産業廃棄物	Kg	目標	6,944.11	8,677.40	7,084.40	22,705.91	
		実績	11,965.00	7,100.00	9,564.00	28,629.00	
		評価	×	○	×	×	
水使用量削減							
	m ³	目標	2,310.56	2,286.91	2,257.22	6,854.69	
		実績	2,420.00	2,431.00	2,359.00	7,210.00	
		評価	×	×	×	×	
化学物質使用量削減							
	ℓ	目標	適量使用、また適正に管理				-
		実績					-
		評価					-
ハイブリッド車の普及							
*1	%	目標	58	58	58	58	
		実績	60.3	不可	不可	-	
		評価	○	-	-	-	
地域貢献活動の促進							
	-	目標	交通安全教室や店舗近辺の清掃活動を実施				-
		実績					-
		評価					-

*1
ハイブリッド車の普及率は
四半期での算出のため
10月、11月は不可としています

取り組み結果の評価と次年度の取り組み

増加要因

- ①エネルギー系…整備工場に全館空調設備を導入した事
各店舗のイベント開催頻度が増えたため
オール併売化による展示・試乗車・社用車の増加
- ②廃棄物…一般廃棄物は、事務所から出る紙ゴミ（コピー用紙や商品カタログなど）が全体的に多かった。
産業廃棄物は、車両点検の作業工数や事故修理、改装工事等の数が多かったため。
- ③水…洗車の台数が増えた（試乗車や社用車、お客様のお車など）

取り組み結果の評価と次年度の取り組み

次年度の取り組み

①CO2排出量の削減

- ・ 照明のLED化と電気消し忘れ防止のため、注意喚起ステッカーを貼る
- ・ 社用車をハイブリッド車へ入れ替え
- ・ エコドライブ推進の社内啓発

②廃棄物関係

- ・ ペーパーレス化、リサイクル分別の継続

③水使用量

- ・ 節水の注意喚起ステッカーを貼る

④地域貢献活動

- ・ くまモン県PJ、社内独自のクロスPJを継続して活動

環境法令一覧及び順守状況

法令等の名称	適用される要求事項	取組・実施事項（編集内容）	遵守
			状況
フロン排出抑制法	業務用エアコン等の簡易及び定期点検実施	業務用エアコンの定期点検実施	○
水質汚濁防止法	特定施設の設置、門型洗車機の届け出 油水分離槽の適正管理	各種届出済み、定期的な適正管理実施	○
下水道法	下水道への放流 除害施設の設置	使用、設備の届け出済み	○
浄化槽法	設置または変更時の届け出、保守点検（一回／年） 定期検査 50人槽以下（5年周期で外観検査1年、水 質検査4年） 50人槽以上（毎年水質検査）	浄化槽の設置届け出済み 保守点検、定期検査は実施済み	○
騒音規制法	騒音施設の届け出 特定施設の届け出（7.5kW以上に空気圧縮機等） 騒音、振動に係る規制の遵守	洗車機の運転時間の自主基準の遵守 夜間作業時のシャッター閉等の近隣への配慮を 実施	○
振動規制法	特定工場等において発生する振動に係る 規制基準を順守 第一種区域：8:00～19:00 60dB以下、 19:00～8:00 55dB以下 第二種区域：8:00～19:00 60dB以下、 19:00～8:00 55dB以下	届け出済み	○
廃棄物処理法	廃棄物の適切な処理、廃棄物置場の整理整頓 【一般廃棄物】 収集運搬、処分業者との書面での契約締結 廃棄物の保管基準の遵守 マニフェストの交付、管理（5年間保管） マニフェスト交付状況の報告	一般廃棄物、産業廃棄物の適切な保管と処理 を実施 マニフェストの交付・管理と収集運搬業者・処分 業者との契約締結 適切な分別の実施と管理	○

自動車リサイクル法	自動車の所有者の責務 自動車の廃棄・使用済み自動車の引き渡し義務	使用済み自動車の引取り業者やリサイクルシステムの事業者登録済み 廃棄から委託業者への適切な処理を実施	○
PRTR法	特定化学物質の使用・管理	適正に使用・管理	○
PCB特措法	PCB廃棄物等の適切な保管 保管状況等の届出（毎年6月末まで）	保管状況等の届け出済み	○
省エネ法	中長期計画の提出、エネルギー使用状況等の報告（原油換算1,500kl以上） エネルギー管理統括者、エネルギー管理規格推進者の選任	クールビズ、ウォームビズ導入等の節電や省エネ機器の導入を推進 エネルギー管理者、推進者を選定	○
グリーン購入法	環境負荷の少ない製品の購入（努力義務）	エコカーの販売促進や再生紙を使用	○
消防法	建屋内の消防管理 火災報知機の設置（工場500㎡以上） 屋内消火栓の設置（工場700㎡以上） 消防用設備等の点検と報告	消防用設備の点検と設置場所、 管理は把握している	○
労働安全衛生法	有機溶接設備等の設置届出、選任 有機溶剤の注意事項、区分の表示 年一回、塗装ブースの定期自主検査 定期健康診断の実施 リスクアセスメントの実施 責任体制の明確化及び自主的活動促進の措置資格取得者	作業環境測定（年2回） 特化物測定（エチルベンゼン） 局所排気装置の検査 有機溶剤作業主任者の選任 注意事項の看板表示 特殊健康診断の実施（年2回）	○
高圧ガス保安法	1 MPa以上の圧縮ガスの容器への充填は、高圧ガス製造事業届	高圧ガス製造事業者届済み	○

※自己評価した結果、法令違反等はありませんでした。
なお関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

代表者による取組状況の評価及び見直しの結果

(1) 全体の確認・評価

項目	報告内容	経営責任者の評価
環境経営目標の達成状況	ガソリン使用量が達成	引き続き、エコドライブを推進
環境関連法規などの順守状況	特に問題なし	引き続きコンプライアンス順守に努める
外部からの苦情や要望	特になし	何かあれば迅速に対応する
その他		

(2) 経営責任者による環境方針等の変更の必要性並びに指示事項

項目	変更の有無	経営責任者の評価
環境方針	有 ・ 無	変更の必要なし
環境目標	有 ・ 無	2022年度を基準に引き続き、改善活動に取り組む事
環境活動	有 ・ 無	節電と廃棄物処理の改善により一層工夫すること
実施体制	有 ・ 無	変更の必要なし
その他	有 ・ 無	地域貢献活動に関しては今後も、積極的に取り組む

代表者による総評コメント

カーボンニュートラルの取り組みを年方針に掲げ、CO2排出量の可視化するなど低減に向けた取り組みをスタートさせました。

今回のエコアクション21の取り組みがいきかけとなり、当社の環境経営項目の結果が明確になりました。一部項目では一定の成果が見られましたが、より一層の意識づけが必要です。

今後はCO2排出量可視化する事で、課題・解決に向け取り組みます。

また、電動車の普及や地域に密着したSDGs体験活動を行い、サステナビリティの実現に向け取り組みます。

「人々の生活を豊かにし、熊本に無くてはならない存在」を目指し、引き続き一人一人が意識を高め脱炭素社会の実現に向け貢献して参ります。

環境・地域貢献活動



©2010 熊本県くまモン

元気だけん!くまモン県 プロジェクト

熊本県オールトヨタが熊本県と手を携え、
地域に貢献していくプロジェクトに
当グループも参加しています。



私たちは「Cross」を合言葉に、クルマ販売だけでなく、クルマを通じて価値を提供できる会社を目指したいと考えております



エコカーラインナップ

環境に配慮した様々なエコカーを取り揃えています。



FCEV : MIRAI

トヨタ自動車が生産・販売する、量産車として世界初の高級セダン型燃料電池自動車。水素自動車特有の走行時には水しか排出せず、数分の水素充電で長距離を走ることができるため『究極のエコカー』と呼ばれている。



PHEV : プリウス

トヨタ自動車が1997年から製造・発売している世界初の量産ハイブリッド専用車。特にPHEVは、電気で走行できるので燃費性能が良く蓄電した電気は災害時やアウトドアにも使用できる。どんなシーンにも対応できるまさに万能型エコカーです。

エコカーラインナップ

環境に配慮した様々なエコカーを取り揃えています。



BEV : ID.4

100%電気自動車専用として新開発されたプラットフォームを搭載し、安心の航続距離と走りの楽しさを両立。一充電で、約618kmの走行距離を実現した。急速充電では、約40分で80%まで充電が可能。



BEV : RZ

トヨタ自動車が開発する高級ブランドレクサスが販売している、クロスオーバーSUV型の二次電池式電気自動車。SUBARUと共同開発したBEV専用プラットフォーム「e-TNGA」を採用し、ショートオーバーハング・ロングホイールベース化による、特徴的なスタイリングと広い室内空間を実現している。

エコカーラインナップ

環境に配慮した様々なエコカーを取り揃えています。



ハイブリッド：ノア

ファミリーカーとしての人気が1番高く、都会的なデザイン・広い室内空間と使い勝手の良さが特徴で家族でのお出かけがおすすめ。
また、ミニバンクラスでもトップレベルの優れた低燃費と走行性能の両立を実現し、老若男女問わず幅広い支持を持つ車種の一つ。



ハイブリッド：ヤリス

電気系、機械系損失を大幅に低減し、ハイブリッド世界トップレベルの低燃費を実現。
最大の魅力はWLTCモード燃費「36.0km/L」という驚異的な燃費とコストパフォーマンス。
欧州車とも引けを取らない国内を代表するコンパクトカー。

トヨタ・パブリカ

1950年代の国民車構想を受けて開発されたパブリカは、トヨタ初の大量車で長年にわたってトヨタの生産・販売する最小車種として位置づけられた、現在のコンパクトカーの元流である。また、社名の由来は「大量車」を意味する英語「パブリック・カー」を略した造語である。

